

おおむた暮らしの

トリセツ

torisetsu



O M U T A

●発行

大牟田市企画総務部広報課

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町 2-3

TEL 0944-41-2505

2023.3



大牟田市勢要覧

快適な生活を支える充実した交通ネットワーク

福岡県の南部、九州のほぼ中心に位置する大牟田市は、その立地と交通アクセスの良さから、福岡市や熊本市はもちろん、九州一円どこへ行くにも便利です。また、福岡空港や佐賀空港にも近く、関西・関東などへの旅行・出張にも便利です。



九州新幹線
博多まで最速30分。関西・関東への観光、ビジネスに欠かせません。



JR鹿児島本線
新幹線と平行して在来線も運行しており、通勤・通学など、市民の足となっています。



西鉄電車
福岡天神行き特急（日中は急行）が30分に1本運行しています。始発駅のため、ゆっくり座れます。



有明海沿岸道路
大牟田市を起点として有明海沿岸の主要都市を結ぶ無料の高規格道路です。



九州自動車道 南関IC
県境にある南関ICから高速道路に乗れば、九州の主要都市へ日帰り旅行することも可能です。

交通アクセス

飛行機で		東京	1時間45分	福岡空港	1時間10分(九州道経由)
		大阪	1時間10分		1時間20分(JR/西鉄)
車で		東京	1時間50分	佐賀空港	50分(有明海沿岸道路経由)
		福岡市街			1時間30分(九州道経由)
新幹線で		熊本市街			1時間20分(一般道路経由)
		大阪	2時間30分(山陽新幹線)	博多駅	30分(九州新幹線)
電車で		福岡市街		博多駅	1時間10分(JR)
				福岡(天神)駅	1時間(西鉄)
船で		長崎県島原港	50分(高速船三池島原ライン ※人・自転車)		三池港

大牟田市



大牟田市には豊かな自然があります。暮らしやすく快適な生活環境があります。子どもたちが、持続可能な社会を創ることの大切さを学ぶ教育環境があります。企業があり仕事があります。そして何より、かけがえのない「人」がいます。大牟田市は「人」に焦点を当て、「若者が夢をもって働くまちづくり」「子育て世代に魅力的なまちづくり」「安心して元気に暮らせるまちづくり」に取り組んでいます。あなたもおおむた暮らし、はじめませんか？

人があたたかい：大牟田市



大牟田市マップ

交通アクセス&主な施設



有明海沿岸道路



1. エコサंकセンター



2. 石炭産業科学館



3. 三川坑跡



4. 高速船三池島原ライン



三池港



新大牟田駅



7. リフレスおおむた



8. 道の駅「おおむた」
花ぷらす館



三池山



9. 延命球場



9. 御大典記念グランド



6. 三池炭鉱 宮原坑



5. 三池カルタ・歴史資料館





大牟田から博多・天神まで約 60 分
で到着。意外と近いんですよ。
また、新幹線の駅があり、空港（福岡、
佐賀、熊本）へも近く関東・関西へ
もひとつ飛び。

福岡都市圏から

1時間圏内

一人当たりの一般病床数・ 一般病院数が県内トップクラス



病院（入院ベッド数 20 床以上）：23
一般診療所：98/ 小児科：36/
産科：5 / 歯科診療所：72

東はなだらかな山々が連なり、西は有明
海に面している気候の温暖なまちです。
休日には多くの人が、低山登山やキャンプ、
釣りなどを楽しんでいます。

豊かな自然



保育所・幼稚園・
認定こども園の

市内には 34 カ所の保育所や認定
こども園等があり、病児・休日保
育等子どもを育てやすい環境が
揃っています。また、学童保育所・
学童クラブが 19 カ所もあり、放課
後の子どもたちも安心です。

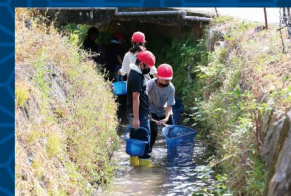
待機児童がゼロ



未来を創る 「おおむたっ子」

市立小・中・特別支援学校のすべてがユネスコスクー
ルに登録し、SDGs/ESD（※）教育に取り組んでいます。
「おおむたっ子」は、子どもの頃から持続可能な社会
について学んでいます。

※ESD 教育…「持続可能な開発のための教育」のこと。
大牟田市では、世界遺産学習や環境学習、福祉学習、国
際理解学習などに取り組んでいます。



地価が安い

住宅地の平均地価は 1㎡あたり
24,300 円。福岡市の約 1/6 福岡都市圏
の約 1/2。家を建てるなら大牟田市！



必要なものは何でも揃う

大型モールが 2カ 所あるほか、スーパーが約 20 カ所、コンビ
ニ約 50 カ所、ドラッグストア約 15 カ所と安心の買い物環境
です。また、飲食店数が県内第 4 位と多いのも特徴です。



ちょっと足を延ばせば

少し足を延ばせば、水郷・柳川市で川下りの風情を感じたり、
名湯名高い平山温泉・山鹿温泉を楽しんだり。
全国的にも有名な湯布院温泉や黒川温泉、阿蘇山、天草な
どにも気軽に遊びに行けます。



三池炭鉱とともに発展した産業が今で
も数多く点在しており、全国シェアを
誇る企業もあります。
また、重要港湾である三池港では、海
外からの荷受けなども行われています。



活気のある産業

進学先がたくさん

総合学科、工業系、単位制の高校まで学び方はいろいろ。
全国レベルで活躍している部活動も多数あり！

公立高等学校	4 校
私立高等学校	3 校
国立高等専門学校	1 校
私立大学	1 校





いい関係だといいます。「以前住んでいたところで、干渉されすぎて疲れたことがあって…。自分も妻も、そんなに密な近所付き合いを望む方ではないので、今くらいがちょうどいいです」と健太郎さん。適度な距離感を保ちながら、いい関係を続けているようです。

子育てがしやすいまち

次男・月陽さんも成長し、コロナ禍も落ち着いてきたことで、外出する機会が増えてきたそう。「諏訪公園に行くことが多いですね。遊具が多く、一日中遊ぶ

ことができる一颯お気に入りの場所です。そのままショッピングモールへ行くのが定番コースです。ベビーカーを押しながら買い物ができて、食事もゆっくりできる。子育て世代にとってはありがたいですね」と話します。最近では沿岸道路を使って、隣のみやま市や佐賀方面にも足を延ばすようになったとのこと。もともとドライブで遠出することも好きだったお2人。「観光目的なら、阿蘇や天草、由布院などへ、ショッピングを楽しむなら、福岡市や熊本市へと、大牟田は日帰りで行くところへ行くことができます。



移住者インタビュー 1

浅田 健太郎さん 恵さん
一颯さん 月陽さん



取材地：ともだちや絵本美術館



生まれ育ったまちで充実した毎日を

子育て真っ最中の浅田さんご夫婦は、マイホームを購入するタイミングで、生まれ育った大牟田へ戻ってきた U ターン組。勤務先の関係でいろいろなまちで生活するなか、転勤願いを出して戻ってきたご夫婦に、大牟田への想いを聞きました。



大牟田の良さを再認識

ともに大牟田で育ち、職場が同じだったことが縁で結婚された健太郎さんと恵さん。転勤により熊本や八代などを転々とし、長男・一颯さんが小学校へ入学するタイミングで大牟田へ戻ってきました。「長男を転校させたくなかったので、転勤願いを出しました。大牟田に戻れると決まったときは、めちゃめちゃうれしかったです」と健太郎さん。

もともと大牟田での生活に不満はありませんでしたが、ほかの町に住んだことでより大牟田の良さを再認識できたといいます。「人が多すぎて疲れることもなければ、田舎すぎて不便さを感じることもない。大牟田は、住むのにちょうどいいまちです。ショッピングモールが2つあるのも魅力ですね」と家を建てることにまったく迷いはなかったそうです。お2人のご両親も大牟田在住で、子育てでも助かっていると恵さん。「長男が小さい頃は、日中母と子になることも多く、孤独感に襲われることもありました。母が近くにいると、いろいろ助けてもらい本当にありがたいですね」と笑顔で話します。

ちょうどいい近所付き合い

大牟田に戻ってきてから1年半あまり。ご近所との付き合いも適度で、ちょうど

きます。立地に恵まれているなあとつくづく思います。これから家族でいろんなところへ出掛けたいです」

ずっとこの地で

今春から一颯さんが小学生となり、周りに水泳やダンスなど、子どもに習い事をさせている家庭が多いことから、いずれは我が家も…と考えているといいます。「自分がずっとバスケットをやっていたので、一颯にはそのうちバスケットを習わせたいです。家族で試合の応援に行ったりするのも楽しそうです」と健太郎さん。やっと大牟田へ帰ってきて、念願のマイホームも建てることで、充実



私のおおむたオススメすぽっと♪

大牟田市動物園

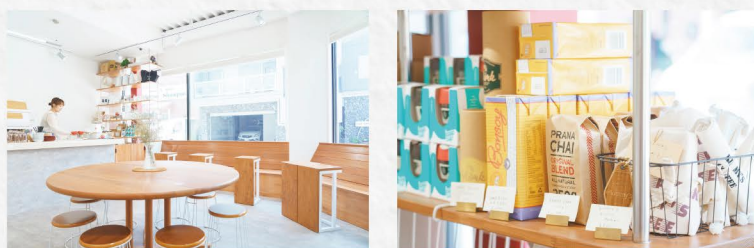


「動物福祉を伝える動物園」というコンセプトのもとに、飼育動物が幸せな暮らしを送ることができるよう、さまざまな取り組みを進めています。ライオンが木に登ったり、レッサーパンダがボルタリングしたり…。飼育員さんらの分かりやすいガイドも好評です。

大牟田市動物園のホームページはコチラから→



いずれは人の『叶えたい』を お手伝いできる存在に



上. 明美さんが癒れる一杯が、たくさんのお客様を引き付けています
左下. 日差しが差し込み、明るい空間が広がる店内 右下. コーヒー関連の
グッズも明美さんのこだわり

店準備に入ります。しかし物件も決まり、準備を進めていた矢先に令和2年7月豪雨が大牟田を襲います。店舗には被害が少なかったものの、市内での被害が甚大だったため、業者さんと相談して被災された方の復旧仕事を優先してもらったこと。『工事予定が延びたことで、その期間にネット通販の準備やSNSでの宣伝活動に力をいれました。また少しでも地域のために、災害のチャリティイベントも開催し、売り上げもすべて寄付しました。オープンが遅れたのは『もう少し待ちなさい』ってことなのだと思うことに

しました」とさまざまな経験があったからこそ、前向きに考えることができた。明美さんは話します。

大牟田のまちだから

2020年11月16日、念願のオープン。コーヒー豆はもちろん、エスプレッソマシンから店内のディスプレイ、取り扱うコーヒー関連の商品まで明美さんのこだわりが詰まった空間が誕生しました。特徴的な大きな窓のおかげで店内は明るく、お客さんの居心地がよいように、テ

ブルや椅子のレイアウトも配慮されています。また、通ってくださる方の名前を呼ぶようにするなど、コミュニケーションも大切にしているといいます。

「オープンから2年経ちますが、常連さんもたくさんできました。年齢層は幅広く、小さいお子さんから、80代の方までいらっやいます。『キミーズのコーヒーで一日が始まるよ』と言っていただく本当にうれしいです。この空間は、大牟田のまちだからできたことですね」

次のステップへ

「時折、アルバイトの方に入ってもらっていますが、基本はひとり。いずれは



私のおおむたオススメすぽっと♪ ジェラード専門店 “カラヘ”



市内にある果樹農家直営の手作り本格ジェラード専門店。地元で生産された旬のフルーツを使った10種類以上の味を楽しむことができます。

KIMMY' COFFEEとコラボした“コーヒーみるく”もオススメ!



このまちだからできること

午前7時。官公庁や幼稚園などが連なる通りに、コーヒーの香りとともに「おはようございます!」と元気な声が響きます。通勤前にテイクアウトを頼む方、常連となっている近所のおじいさん…さまざまなお客さんが出入りする小さなコーヒー屋「@KIMMIY'S COFFEE(キミーズコーヒー)」は、スペシャルティコーヒーと気さくなオーナーが人気の2020年11月にオープンしたお店です。

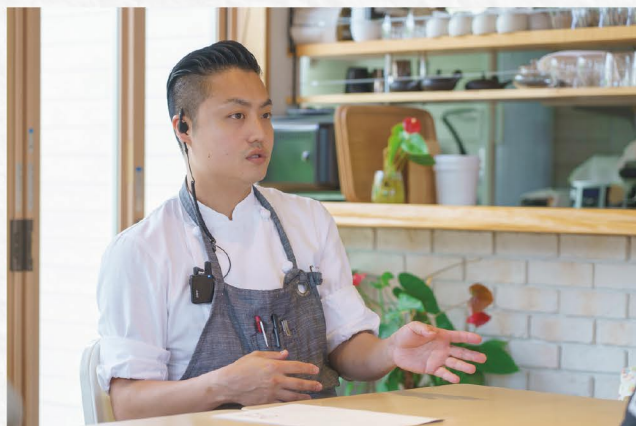


さまざまな経験を積んで

オーナーの龍明美さんは大牟田生まれの大牟田育ち。高校卒業後、一般企業に勤めたものの仕事に悩むことも多く、そんなときに癒しの場となっていたのがカフェだったといいます。離職し、違う世界を見てみようとして23歳のときに「カフェのまち・メルボルンで働きたい!」とワーキングホリデーを使いオーストラリアへ。最初は英語もままならず、カフェで働いた経験もなかったため、まずはアルバイトをしながら語学を勉強。それから、バリスタの経験を積むために、ワーキングホリデーが切れた期間中に東京や横浜にある有名なカフェで働き、コーヒーの基礎やカフェの運営・経営についても学び、再びオーストラリアへ。「約2年間、勤務したカフェの倒産、いきなりのマネージャー任命など、予期せぬ出来事が繰り返し起こりますが、何事もポジティブにとらえるオーストラリアの方の気質に鍛えられました」といいます。横浜とメルボルンで経験を積み、「自分の店を持つ」土壌ができました。

オープン前のアクシデント

2018年12月に帰国。「お店は大牟田で構えたいと心に決めていました。また都心部では、忙しくて自分が求める癒しの空間を実現できないだろう」と、出



上. 笑顔が絶えない末吉さんですが、自分の想いを語るときは真剣な表情に 下. 店舗の周辺には緑がふんだんに植えられています

移住者インタビュー3 why?

末吉 辰隆さん

Patisserie plantes オーナー



幼いころからお菓子づくり

「子どものころから料理やお菓子を作るのが好きで、バレンタインに女の子にお菓子をプレゼントしたこともあるんですよ」そう言いつつ笑う末吉辰隆さんは、若い人を中心に人気のスイーツカフェ・パティスリー

プランツのオーナーです。

大牟田で生まれた末吉さんは、漫然と過ごす高校生活に疑問を持ち1年生の時に退学、母の紹介で市内の洋菓子店でアルバイトをすることになります。「もともと菓子作りが好きだったこともあり、楽しかったで

すが、理想の店を作るためには大牟田しかないと思ったからでした」

末吉さんの理想は、テイクアウトだけでなく、スイーツを楽しみながら人と人が交わる店。そのために、イトインのスペースは必須でした。「都会で出店しようとすると、費用は倍以上かかりますし、店舗も狭くなる。また、せかせかしたくなかったんです。良くも悪くも、大牟田は時間の流れがゆっくり。お客様に寄り添ったお菓子作りができると思いました」

2016年4月、理想の形でオー

大牟田のゆったり感が好き

ブン。以来、人気のスイーツ店として多くの人に愛されています。

「お客様の笑顔を見ると、ほんとにうれしくなります。お菓子作りの仕事に携わってよかったとつくづく思います」

大牟田を盛り上げたい

お店の経営だけでなく、大牟田をもっと元気にしたいと思っている末吉さん。なるべく地産地消にと、市内の生産者との繋がりも大切にしています。「洋菓子店では果物の消費量は限られる上に形も大事です。し

お菓子作りをとおして、地元を盛り上げたい

「おいしいものは人を笑顔にできる。素材を大事にお菓子をつくり、皆様の笑顔につなげたい」—そんなコンセプトのもとに素敵なお店「パティスリープランツ」。オーナーの末吉辰隆さんは、お客様や地元に寄り添った商品を作り続け、まちづくりにも関わっています。



大牟田での独立を決意

す。しかし高校を卒業していないと就職が厳しいと言われて大検の資格を取りました。店のオーナーになるためには経営力が必要であり、この時期に資格を取ってよかったです。アドバイスをくれた周りの方には今でも感謝しています」

18歳まで市内で働いた後、本格的にこの業界で働くために大阪の製菓専門学校へ進学。「アルバイトでの3年間、感覚で覚えてきた技術を落とし込むように初日から必死に勉強しました。周囲の学生たちとは雰囲気の違いを感じていました。専門学校卒業後は福岡、千葉、神戸、さらには台湾でも修業しました。お菓子作りの基礎から、マネジメントや経営のノウハウまで勉強する機会にも恵まれました」

30歳までには大牟田に帰ってきて独立したいという思いがあり、2015年に帰郷。市内で物件を探し始めますが、大牟田での開業に反対の意見もあったとのこと。

「業界の仲間たちからは『本当に大牟田でいいのか、もっと都会でお店を出した方がいいんじゃないか』という声もありました。それでも大牟田での独立を決めたのは、単純に大牟田が好きだということもありま

かし形は崩れていても、味は良いものはたくさんあり、使い道を模索していたところ、アイスにすれば量は消費できるし保存もできる」と、2021年から地元の農産物を使ったジェラートの販売も始めました。「ジェラートはケーキより安価なため、学生さんらがよく立ち寄ってくれるようになりました。これはうれしい現象です」と笑みがこぼれます。

子どもたちに大牟田を好きになってほしい

中学卒業後のアルバイト時代、いろんな世代の人と関わり、輝いてい

る大人の存在を知ること、広い視野を持つことができたと話す末吉さん。「子どもたちと地元の特産品を使った商品を作る機会に恵まれ、関わっていくうちに子どもたちが成長していく姿を間近で見ることができ、感動しました。子どもたちには、小中学生のうちにいろんな人と関わって、地元の良さを知ってほしいですね。いったん市外に出ても大牟田が好きであれば、将来戻ってくる人が増えるのでは。お菓子作りをおしてまちづくりの一助ができていることはうれしいですね」

末吉さんの想いは、子どもたちに受け継がれています。

私のおおむたオススメすぽっと♪

おおむた「大蛇山」まつり



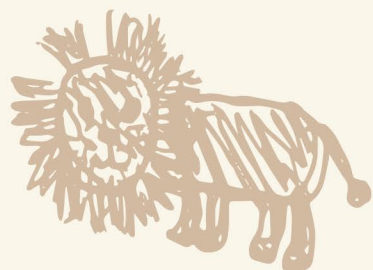
毎年7月の第4土曜日・日曜日に開催される大牟田市が最も熱くなる夏の祭り。各地域から集まる大蛇山の山車は、早いところでは1月頃から制作準備に入ります。山車や子どもたちのお囃子、女神輿など、地域ごとの違いを楽しむことができます。

大牟田市動物園

「動物福祉を伝える動物園」というコンセプトのもとに、動物が精神的にも肉体的にも健康であり、幸せな暮らしを送ることができるように、さまざまな取り組みを進めています。



トレーニングをすることで、麻酔を打たずに動物たちの心身の健康管理を行うことができます（ハズパンドリートレーニング）。



諏訪公園

広大な敷地内に親子でピクニック感覚で楽しめる大型遊具やアスレチック施設があるレクリエーションゾーン、ジョギングからソフトボール、サッカー、テニスまで楽しめるスポーツ休養ゾーン、さまざまなイベントが行われる文化交流ゾーンがあり、あらゆる世代の方が楽しめる大型総合公園です。



大牟田市には、絵本の世界を楽しんだり、動物たちと触れ合ったり、大型遊具で思いっきり遊んだり、親子で楽しむことができる空間がたくさん！

＼ 楽しく子育て ＼



定期的にマルシェが開催され、スイーツからグッズまで楽しむことができます。

ともだちや絵本美術館

大牟田市動物園の中にある、絵本の素晴らしさを心と体で感じることのできる美術館。約1500冊以上の絵本を自由に好きなだけ読むことができます。ボランティアの皆さんによる読み聞かせも行われています。また、ギャラリーでは、絵詞作家・内田麟太郎さんの「おれたち、ともだち！」シリーズを中心とした原画を楽しむこともできます。

オープンして1年あまりたちました。たくさんの方に来館いただき、リピーターの方やSNSでほめてくださる方も多く、手ごたえを感じています。居心地がいいといってもらえるとうれしいですね。また読み聞かせのボランティアの方やマルシェに参加して下さる方もじわじわと増えており、本当にありがたいです。

まだまだ大牟田の方でも来ることがない方がたくさんいると思います。もっと気軽に足を運んでいただけるような仕掛けを作りたいです。

一方で、美術館としても評価されるようになりたいですね。さらには、美術館内にとどまらず、大牟田のまちを面白くしたいと思っています。おかげさまで、まちを盛り上げようと頑張っている人々と、たくさん出会うことができました。新たなコミュニケーションが生まれ、連鎖することで、まちがどんどん魅力的になっていくのだと思います。美術館をおして大牟田市へ貢献できたうれしいですね。



岡 大輔 さん
絵本美術館 館長

赤ちゃん広場

保護者の友達づくりの場です。親子あそび、絵本の読み聞かせを行います。育児相談もできます。

対象：生後5～12か月の乳児と保護者

日程：毎月1回（※予約制）

場所：らふる



つどいの広場

子どもとその保護者が一緒に遊び、子育てを楽しむ広場です。子ども同士、保護者同士が交流できる場所です。

対象：0～3歳の子どもと保護者

日程：火曜日～土曜日

午前10時～午後4時

場所：えるる



パパ・ママ育児専科

赤ちゃんのお世話体験や妊婦疑似体験、歯のお話を行います。参加者同士の交流も行います。

対象：妊婦さんとパートナー

日程：年に6回（予約制）

場所：らふる

赤ちゃんの人形で
沐浴体験！



大牟田市の取り組み①



安心して子育てを



小さなこと
でも相談し
てく
だ
さ
い

大牟田市子育て世代包括支援センター はぐはぐOomuta(おおむた)

保健センター「らふる」にある「はぐはぐ Oomuta」には、専門的な知識を持った保健師や助産師・看護師・歯科衛生士・管理栄養士がいます。妊娠期から子育て期にかけての相談をお伺いし、医療機関などの関係機関と協力しながら、切れ目のない支援を行っています。



妊婦歯科健康診査



育児相談（面談）



育児相談（体重測定）



学力の向上を目指して

少人数授業やタブレット端末の活用

平成 28 年度から、全国に先駆け、小学校全学年を 35 人以下学級としました。また、一人ひとりの学力に応じた習熟度別や課題別の少人数授業を実施しています。さらに、タブレット端末等を積極的に活用し、学力向上に努めています。



学校でも家庭でも、効果的にタブレット端末を使っています

子どもたちは、地域の宝です。大牟田市では、「まちづくりは人づくりから」という考えに方に立ち、「知・徳・体」のバランスのとれた児童生徒を育むために、一人ひとりを大切にした教育をすすめています。



持続可能な社会の創り手を育てるために

SDGs / ESD の推進



中学生も避難所設営など、地域貢献できるよう防災・減災教育を行っています



世界文化遺産「宮原坑」をご案内！～子どもボランティアガイド

各小・中・特別支援学校が、それぞれの地域の特徴を生かしながら、世界遺産、環境、福祉、防災・減災などの特色ある教育に取り組んでいます。人と人との「つながり」や「かかわり」を通して、自分たちができることを考え、地域や社会の課題を解決するなど、次世代に向けた若い力を育んでいます

特別支援教育の充実

多様なニーズに応える支援

障害のある児童生徒の多様なニーズに応え、自立と社会参加を図るため、市立特別支援学校（政令指定都市や中核都市以外では九州に2校）を設置しています。また、教育支援センターや通級指導教室、小・中学校には、特別支援教育支援員や特別支援教育巡回指導員を配置し、一人ひとりに寄り添った教育を行っています。



みんななかよし～特別支援学校学習発表会

教育相談の充実

心に寄り添う温かいサポート

教育相談室や教育支援センターに、経験豊富な教育相談員や指導員を多数配置し、児童生徒や保護者からの相談に応じています。また、各学校にスクールカウンセラーを派遣するとともに各中学校区にスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒を取り巻く諸課題の解決に向けた支援を行っています。



子どもの心に寄り添いながら、専門機関との連携を図るスクールソーシャルワーカー

安心安全でおいしい学校給食

理由①：手作りが基本

～カレーのルーからフライの衣付け、ドレッシングまで手作り！

理由②：地元の食材を

～大牟田産、福岡県産、九州産の食材を使うなど、地場産物を多く取り入れています。

理由③：安くて安全、おいしい給食を

～栄養教諭、給食調理員、給食担当の教諭を委員とする物資選定委員会を毎月実施し、品質、味、価格等の視点から検討して食材を選んでいます。



食物アレルギーがあっても、みんなと一緒に給食を！



アレルギーの原因となる食品を除いて、個別に給食を作ります。専用の調理方法や容器などを使い、安全管理を徹底しています。



義務教育9年間を見通して 小中一貫教育を進めています



小・中学校合同で行う校内や地域での清掃活動

義務教育9年間を見通した教育課程に基づく指導を行うとともに、専任のスクールソーシャルワーカーおよび学校と家庭・地域をつなぐ、専任の地域学校協働活動推進員などの活用により、学力の向上や心身の健全な育成、「中1ギャップ」の解消に努めています。



「ようこそ先輩！」～中学生が母校を訪問し、小学生たちに中学校生活の楽しさを説明します



ダンスのまち・おおむた

市内にはたくさんのダンススタジオがあり、いくつかの高校では部活動も盛んです。ダンス経験のある中高生が、経験のない小学生にダンスを教え、舞台上で発表する「ダンスチャレンジおおむた」も人気です。



スポーツでいきいきと

令和5年に完成予定の「新総合体育館」をはじめ、陸上競技場から野球場、武道場、テニスコートなど、誰でもスポーツに親しみ、楽しむことができる場所がたくさんあります。

また、子どもたちが所属するソフトボールや野球、ミニバスケット、剣道・空手などの活動も盛んです。



親子マラソンで、親子の絆が深まります！



いつまでも学べるまち

郷土の歴史と遺産を学び、理解する機会があります。また、文化芸術に親しみ、参加できる取り組みもたくさんあり、多くの人が生涯にわたり、学び、発表する機会を楽しんでいます。



フィールドワークで、地域の魅力を発見



日頃の学びの成果を文化会館の大舞台上で発表します



認知症になっても安心して暮らせるように

ほっとあんしんネットワーク模擬訓練／絵本教室

地域全体で認知症の理解を深め、地域で支える仕組みをつくり、認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けることのできるまちづくりを進めています。これらの取り組みは「大牟田モデル」と言われ、全国から注目されています。



認知症のことを学ぶ学習会「絵本教室」



さまざまな団体と協力・連携して取り組みます

災害に備えて、ハード・ソフトの両面で対策に取り組んでいます



新たなポンプ場も建設

災害に備えて、日頃から地域や学校で避難所運営や避難訓練などを行っています。また、豪雨対策としてポンプ場や水路の整備、水位計の設置など、ハード整備も進めています。

3 新大牟田駅産業団地

新大牟田駅周辺をさらに魅力的に

新幹線停車駅のポテンシャルを生かし、九州自動車道や有明海沿岸道路へのアクセスにも優れた新大牟田駅南側に、商業・サービス系の「賑わい交流用地」と企業立地を目的とした「産業用地」の整備を行っています。



大牟田ビンテージのまち株式会社
紫牟田あいらさん

「ワクワクが止まりません。」

大学で地域再生について学び、「卒業しても大好きな大牟田に貢献したい」と、『地域とともにきらめく街づくり・人づくり』を企業理念とする地元企業に就職しました。

仕事とボランティアの境目がわからないほど、まちづくり活動に取り組んでいます。中でも、大牟田がもっと魅力的なまちになるアクションを生み出そうと始まった「大牟田わかもの会議」では、志を持ったたくさんの仲間たちに出会うことができました。互いに切磋琢磨し、自分たちの思う未来に向け活動できていることにやりがいを感じています。

今後も大牟田が秘める可能性にワクワクが止まりません。



おおむた若者会議

若者が大牟田のまちなかでやってみたいアイデアを形にする方法を学び、実践していきます。



LEAD TO THE NEXT FROM OMUTA :

まちづくりの機運を高めたり、イノベーション創出を進めたりすることを目的とした、有識者と若者のトークイベント。

1 aurea (アウレア)

イノベーション創出拠点

イノベーション創出の拠点として、令和4年10月にオープンしました。昭和11年に竣工し、長く大牟田商工会館として使われていた歴史ある建物には、市外から進出された企業や新たに創業したIT関連企業が入所し、地域企業のデジタル人材育成やeスポーツ等のデジタル技術を活用したまちづくりなどが進められています。



新たなスポーツ・健康増進拠点

「スポーツや運動を通じて、ひとを健康に、まちを元気に」をコンセプトに市民のスポーツ・健康増進の拠点となる新しい体育館を整備中です。このエリアには、動物園、陸上競技場、野球場などが集積しており、現在、より魅力的な場となるよう一体的に整備を進めています。



2 総合体育館 延命公園エリア

未来に向けた
新しいまちづくり
大牟田市は、これまで培ったまちのポテンシャルを最大限に生かして、将来を見据えた新たなまちづくりに取り組んでいます。



大牟田のいいところ
発信しています



おおむた PR 隊 大牟田ホットスポット情報部

市内在住の 20 ~ 30 代の若者が、市内各地に取材に出掛け、若者目線でたくさんの魅力を発信しています。



オススメのスポットを
ご紹介！

移住者目線で情報発信 地域おこし協力隊

宮崎県出身の地域おこし協力隊が市内を巡り、移住者目線で大牟田のいいところを発信しています。



まだまだあります！！

HP



LINE



Twitter



Facebook



YouTube



ジャー坊による情報発信

ジャー坊が市内のさまざまな場所に出掛け、インスタグラム、ツイッターでまちの魅力を発信しています。



FM たんと

大牟田市、みやま市、熊本県荒尾市を中心エリアとしたコミュニティ FM です。地域のタイムリーな情報が届きます。

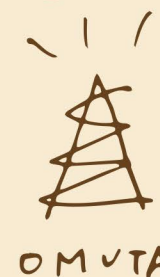


大牟田市公式観光サイト おおむた One plate

観光スポットやグルメ情報などが満載の観光ポータルサイト。おススメ観光ルートから、ディープな情報まで、見ていだけで楽しくなってきます！



大牟田の情報を まるごと get!!



スイーツ



グルメ



おすすめスポット



イベント



古くて新しい、にぎわい・交流拠点

hara harmony coffee



かつて市内を走っていた「路面電車 204 号」が、カフェとして再出発！

「古くてあたらしい」をコンセプトに、大牟田駅西口に「にぎわい」を創っています。カフェ機能だけでなく、定期的にマルシェが開催されるなど、新たなにぎわい・交流拠点となっています。



大牟田へ来られた際は
ぜひお立ち寄りください



Work...

産業が元気なまち・大牟田には、魅力的な事業所がたくさんあります。そんな事業所の魅力を高校生や高専の学生さん達に知ってもらうためにさまざまな取り組みを行っています。また、新たな仕事を探す人に向けての事業も行っています。

そのほか市内には、ハローワークや高等技術専門校もあり、就職活動を支援します。

有明海沿岸地域の次世代DX開発拠点に

ICT KŌBŌ® ARIAKE 凸版印刷株式会社

凸版印刷は、デジタルトランスフォーメーション(DX) 事業を強化し、社会・業界・企業のデジタル革新を支援するビジネスに取り組んでいます。この DX 事業の核となるシステム開発部門の体制強化を目的に、全国にシステム開発に特化したサテライトオフィス展開しており、2022 年 9 月、大牟田市に新たなシステム拠点「ICT KŌBŌ ARIAKE」が誕生しました。



唐崎 浩誠さん
DX デザイン事業部
ICT 開発センター
サテライトオフィス戦略部

大学院まで情報工学を学んでいました。現在、大牟田市の事業所様との実証実験のために一からアプリを作っています。自分のスキルを生かせる仕事で、とてもやりがいを感じています。いずれかは、ソリューションサービスを充実させ、大牟田へ進出される企業支援ができればと考えています。

最近、まちづくりに熱い人たちとの関わりができて、刺激をもらっています。



地元自治体との強力なパートナーシップ

企業との連携による、地域活性化・イノベーションの創出を推進している大牟田市と連携。インターンシップ支援をはじめとする IT 人材の育成や最新技術の実証実験のフィールドの提供、地域企業の紹介など、大牟田市と一体となって、地域経済を活性化させています。



他の拠点との連携にロスのないネットワーク空間

65インチのモニターを通して、東京や他の「ICT KŌBŌ」と常時接続し、社内ネットワーク上でのコラボレーションツールを活用することにより、コミュニケーション・ロスがない開発環境を実現しています。

大牟田地域企業合同面談会

大牟田地域への就職を促進し、地域の事業所の人材確保を支援するために実施しています。

ありあけ地域企業紹介フェア

約 50 の企業が有明高専敷地内にブースを出し、有明高専の学生の皆さんに、地域企業の魅力を知り、興味を深めてもらう目的で開催します。

大牟田市企業見学会

大牟田市内の事業所と学校との交流を図り、事業内容についての理解を深めるため、市内の高専・高校の進路指導担当者などを対象に、見学会を行います。



ハローワーク大牟田

〒836-0047 大牟田市大正町 6-2-3 ☎ 0944-53-1551 FAX 0944-54-1540

福岡県立大牟田高等技術専門校

〒837-0924 大牟田市大学歴木 475 ☎ 0944-54-0320 FAX 0944-54-0321

世界文化遺産・三池港で百年以上の歴史を持つ物流会社として

三池港物流株式会社

創業以来、港湾荷役をはじめ様々な物流サービスを通して、近代日本の発展と地域社会の繁栄に貢献してきました。時代は大きく変わりましたが、これからも信頼されるサービスを提供して、次の100 年に繋いでいきます。

主な業務は、港湾荷役、港湾運送、陸上輸送、倉庫業、曳船、通関です。



社員のスキルアップを後押し

入社後に必要な資格を取得でき、徐々に仕事の幅を広げていくことが可能です。免許・資格取得への補助や、奨励金などが支給され、社員のスキルアップを支援します。また、入社初年度から年休20日が付与されるなど、福利厚生も充実しています。



三池港での物流サービス

大型クレーン、荷役用重機、また、運搬車両等を多数所有し、通関を含め大型船の曳船から、貨物の積み降ろし、倉庫での保管、顧客先への輸送まで一貫した物流サービスを提供していきます。



地元の高校を卒業して入社。今年で10年目となります。貨物の船舶への積み込みや揚陸、トラック輸送、自社倉庫での保管など、お客様からのさまざまなご要望に応える業務を行っています。化学工場など、取引先の規模が大きく専門用語も多いため、大変なこともあります。お客様から感謝されることも多くやりがいを感じています。海が好きなので、港に隣接している環境も気に入っています。



大石 将史さん
営業部 営業課
営業係 主事



世界文化遺産 三池炭鉱宮原坑

2015年に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産として、三池港や三池炭鉱専用鉄道敷跡とともに、世界文化遺産に登録されました。当時の面影を残す第二竖坑櫓は、高さ約22mで、現存する鋼鉄製の櫓では日本最古です。元炭鉱マンなどが案内するガイドもあり、炭都おおむたの歴史に浸ることができるスポットです。



宮原坑の横には、石炭や坑夫を運んだ三池炭鉱専用鉄道の線路跡が残っています



かませ：大蛇の口に子どもをかんでもらうと、無病息災が約束されると伝えられています



おおむた「大蛇山」まつり

蛇や龍を水の神とする「水神信仰」と祭神を悪病除けや農業の神とする「祇園信仰」が絡み合い、祇園の祭りに大蛇が取り入れられたのが「大蛇山」と言われています。大蛇山は江戸時代に三池地方で始まり、明治時代になって大牟田の各所に広まりました。それぞれの山に特色があり、長さ10メートルを超える山車が火煙を吐きながら勇壮に練り歩く姿は圧巻です。

季節を彩る花の名所

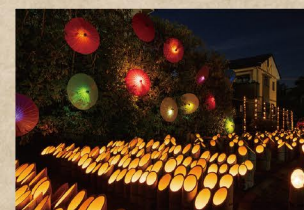
がりゅうばい
普光寺の臥龍梅
樹齢450年以上といわれる福岡県指定の天然記念物の紅梅です。樹形が地を這う龍の姿に見えることから臥龍梅と呼ばれています。



市内各地の桜

延命公園や甘木公園など、市内各地に桜のスポットがあります。

定林寺のあじさい
1199年建立と言われている古寺の露庭や周囲の山道に、色とりどりのあじさいが咲き乱れます。



三池光竹

里山保全を目的に、地域住民や環境団体などが協力して開催しています。歴史と自然の中に、幻想的な竹灯籠が灯ります。



三池初市

江戸時代の宿場町だった三池地区で、300年以上の歴史を持つ春の風物詩です。「初市風にあたると1年間は風邪をひかない」との言い伝えがあります。



臼かぶり

火災よけを祈願する行事です。白装束の氏子が、重いものは80kgを超える水の入った木臼を持ち上げ、後ろに豪快に放り投げる勇壮な催事です。



刀剣文化

平安時代後期、天下五剣のひとつに数えられる名刀を生んだ刀匠「三池典太光世」のふるさとであり、今も4人の刀匠が刀を作り続けています。



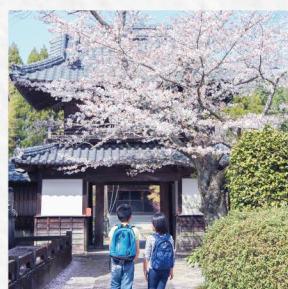
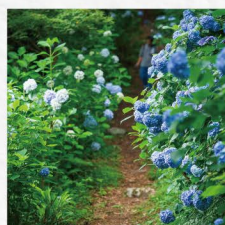
三井港倶楽部

明治41年に三池港の開港にあわせ、政財界の社交場や船員の休憩所を目的に建設された迎賓館。現在もレストランや結婚式場として使われています。



三池港 光の航路

1月と11月の年2回、夕日が世界遺産三池港の航路先端から閘門を通り、まっすぐに伸びる光景を見ることができます。



おおむた暮らし
始めてみませんか？！

あなたの生活を応援します

移住や就労にかかるさまざまな支援制度

働く人を応援

奨学金の返還補助

最大 30 万円、奨学金の返還を支援します。45 歳未満で市内で就職・起業した方などが対象

家賃補助

最大 36 万円の家賃補助です。45 歳未満で市内で就職・起業した方などが対象

移住支援金（※随時拡充中です）

三大都市圏からの移住と、指定のサイトでの就職やテレワークでの就業をする方に移住支援金を交付します。

単身：60 万円

世帯：100 万円（子育て加算あり）

就農を応援

新規就農を支援

就農初期の経営のための交付金です。

18 ～ 49 歳：年間最大 150 万円（最長 3 年間）

50 ～ 54 歳：年間最大 100 万円（最長 3 年間）

55 ～ 64 歳：年間最大 75 万円（最長 3 年間）

子育てを応援

医療費を助成

中学生までの医療費を助成します。
（3 歳未満は自己負担なし）

保育環境の充実

大牟田市は待機児童ゼロ！
保育料も市で独自に軽減を行っています。

進学先の選択肢

県立高校 4 校、私立高校 3 校（うち 2 校は中高一貫）に加え、高等専門学校と大学も 1 校ずつと進学先も充実。



起業を応援

創業費を補助

創業費用の一部を補助します。

店舗改修を補助

店舗の新築・改修（空き店舗も対象）に係る費用の一部を補助します。

新規創業融資資金

低金利・保証料 0% の有利な融資制度があります。

移住までの STEP

1 まずは情報収集

大牟田市ホームページ

支援制度や手続きなどを調べるのに Good！



市 HP



移住サイト

2 ちょっと気になる…相談してみよう

移住コンシェルジュがご案内

電話やオンラインでの相談のほか、相談フォームでの問い合わせも OK！



フォームでの相談、予約はコチラから



3 試してみよう

おおむた暮らしお試し居住

一軒家で大牟田の暮らしを体験。（3 ～ 14 日間 1,000 円 / 日）



お試し居住



4 探してみよう

住宅情報提供ネットワーク

「自然豊かなところがいい」「スーパーの近くがいい」など、細かくリクエスト可能なお部屋探しができます。



住宅情報

